

～庁舎整備について松浦市長と語ろう～

# 湖南省庁舎整備基本計画(案)

## 湖 南 市



日時：令和6年12月18日（水）19：00 ～ 21：00

場所：湖南省役所 東庁舎 3階 大会議室

# 1 基本計画の策定にあたって

H28.1策定 湖南省市東庁舎周辺整備計画（基本構想）

H29.11策定 湖南省市庁舎建設及び周辺整備基本計画

H30.12策定 湖南省市複合庁舎整備基本設計

R2.3策定 湖南省市複合庁舎整備実施設計

新型コロナウイルス感染症対策優先のため、整備を一旦見送り

庁舎整備は  
社会情勢の変化に対応

- ・ 情報技術の進展、DX化
- ・ 地球環境への配慮
- ・ 人口減少に伴う財政規模の縮小の懸念
- ・ 小規模多機能自治の推進

早急な庁舎整備が必要

南海トラフ巨大地震等  
の災害への備え

庁舎に必要な機能を吟味し、  
全面建替えだけでなく、現庁舎の耐震補強と増築による庁舎整備も視野に入れ、  
より効果的、経済的な整備方法について再考

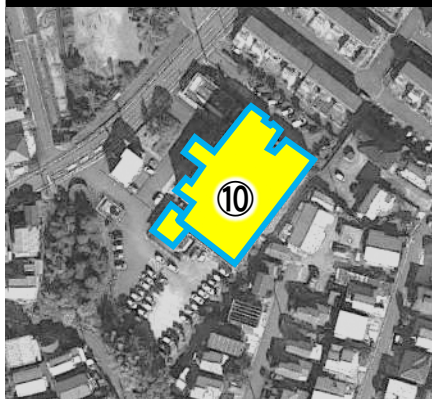
## ■ 現庁舎及び周辺施設

□ 新耐震 □ 旧耐震 ■ 築30年以上

西庁舎周辺



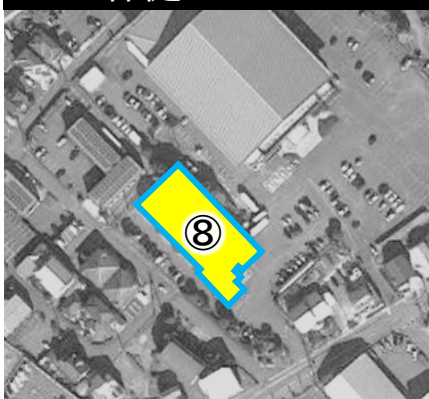
石部診療所



教育サポートセンター



保健センター



東庁舎周辺



- ① 甲西図書館
- ② 甲西文化ホール
- ③ 東庁舎
- ④ 公用車車庫・水防倉庫
- ⑤ 湖南中央消防署
- ⑥ 社会福祉センター
- ⑦ 共同福祉施設(サンライズ甲西)
- ⑧ 保健センター
- ⑨ 教育サポートセンター
- ⑩ 石部診療所
- ⑪ 石部防災センター
- ⑫ 湖南中央消防署(石部分署)
- ⑬ 石部老人福祉センター
- ⑭ 石部軽運動場
- ⑮ 石部保健センター
- ⑯ 西庁舎
- ⑰ 石部文化総合センター

## ■ 旧耐震基準

…1981年(耐震基準の改定)以前に建設。  
震度5程度の地震で倒壊しない。

震度5

震度6



倒壊しない

倒壊の  
恐れあり

## ■ 新耐震基準

…1981年(耐震基準の改定)以降に建設。  
震度6程度の地震で倒壊しない。

震度5

震度6



倒壊しない



倒壊しない



## ■現庁舎及び周辺施設の課題

## ①防災拠点としての機能不足

- ・ 現行の耐震基準を満たしていない（Is値=0.22）
- ・ 大地震時に倒壊や崩壊の危険性がある
- ・ 地震等で庁舎が倒壊すると、その後の復旧・復興活動に大きな支障をきたす
- ・ 非常用電源もなく、必要最低限の機能を稼働させることができない

## ②庁舎機能の分散、施設の重複

- ・ 庁舎機能が東庁舎と西庁舎に分かれ、さらに東庁舎の面積不足により、サンライフ甲西、保健センター、石部保健センター等に部局が分散している
- ・ 甲西図書館と石部図書館、甲西文化ホールと石部文化ホールで機能が重複している

## ③施設、設備の老朽化

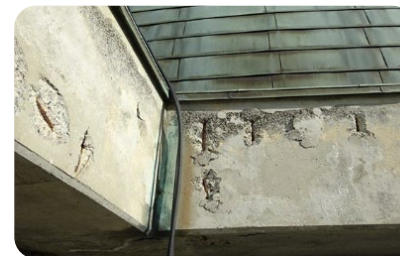
- ・ 両庁舎とも築46年が経過し、老朽化が著しい
- ・ 外壁タイルの剥落、内壁の剥離、雨漏れ、トイレなどの給排水や空調機器の不具合等

## ④ユニバーサルデザインへの対応不足

- ・ エレベーターが5階の議場に繋がっていない
- ・ トイレにベビーチェアやオムツ交換台がない
- ・ 授乳室などがない

## ⑤自然エネルギーの有効活用、省エネルギー化への対応不足

- ・ 設備が古く、空調機器等のCO<sub>2</sub>排出量が多い
- ・ サッシが古く、腐食しており、断熱性能が低い



東庁舎4階軒部分



西庁舎外壁



東庁舎廊下



東庁舎給水設備

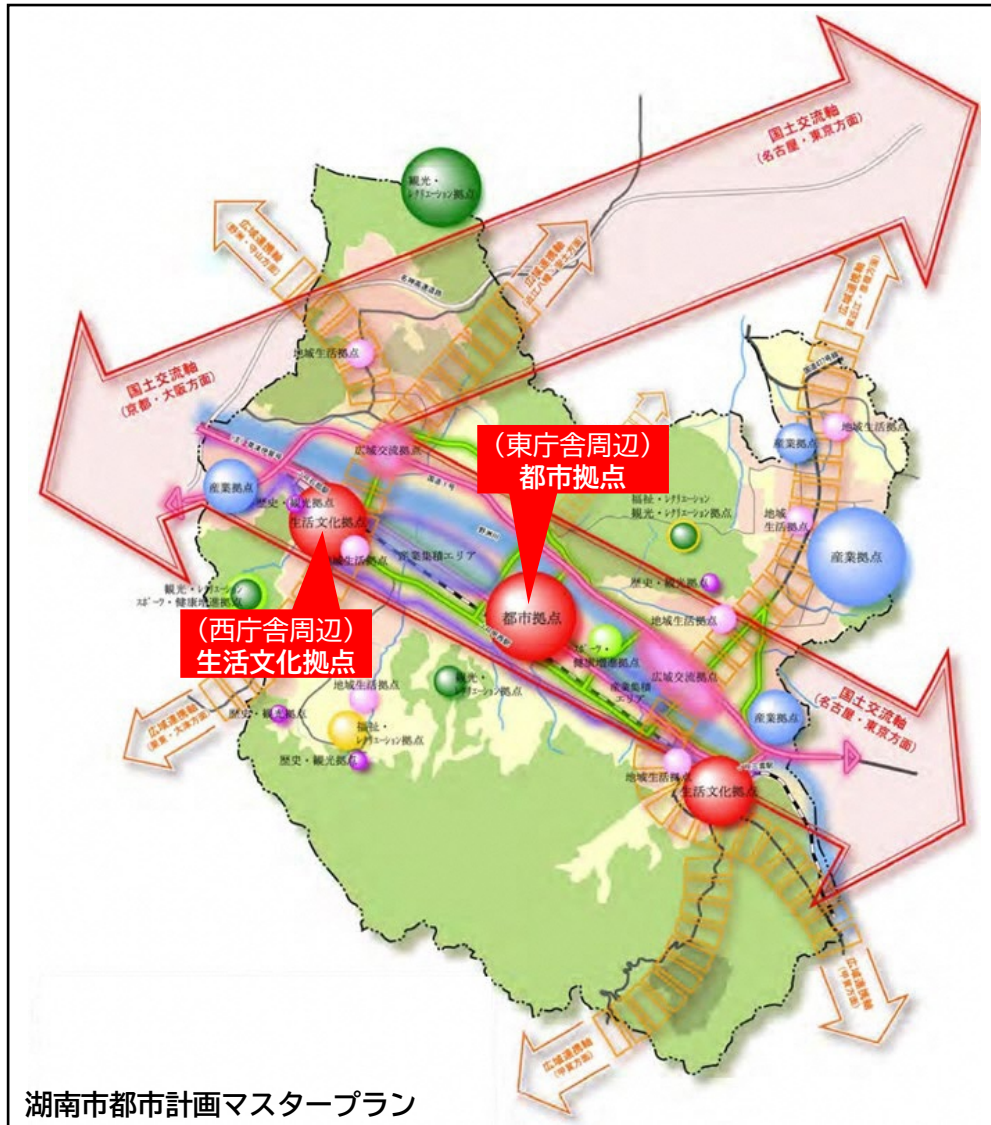


- (1) 大規模災害時でも機能維持できる整備
- (2) 市民にとっての利便性向上と行政運営の効率化
- (3) 持続可能な地域づくりの後押し
- (4) 財政負担の軽減

## ■ 庁舎整備方法の比較検討について

	東庁舎の改修・増築			新築・建替え
	耐震壁補強	制震補強	免震補強	
耐震性能	×	○	◎	◎
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震では、内装の損傷や什器・設備等が倒れる二次被害のリスクが高い。</li> <li>大地震後、余震が続くと構造体への損傷が拡大する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震工法より二次被害の影響は少ないが、リスクはある。</li> <li>大地震後、余震が続くと構造体への損傷が部分的に生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震でも建物の被害はほぼなく、二次被害も少ない。</li> <li>大地震が繰り返し発生しても構造体への損傷がほぼない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震でも構造体の補修なく、建物の使用を続けられる。（免震工法の場合）</li> </ul>
執務室への影響	×	△	◎	◎
	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震壁により空間が分断され、視認性や動線に影響がある。</li> <li>1～3階の外壁面は過半が耐震壁となり、採光が悪くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブレース形状のため、ある程度の視認性はあるが、動線に影響がある。</li> <li>外壁面は半数近く制震装置が設置されるが、採光は取れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>影響はほぼない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一からの設計のため自由度が高い。</li> </ul>
工 期	○	○	×	◎
	短い	やや長い	長い	短い（仮移転が不要なため）
工事中の業務継続	△	△	△	◎
	仮移転が必要	仮移転が必要	仮移転が必要	仮移転は不要
30年間の ライフサイクルコスト (建設費、維持管理費、光熱水費等)	○	△	△	◎
	129億円	133億円	137億円	102億円

## ■新庁舎の建設場所について



## 【上位計画における東庁舎周辺の位置付け】

湖南省都市計画マスタープランにおいて、

東庁舎周辺は『都市拠点』

西庁舎周辺は『生活文化拠点』

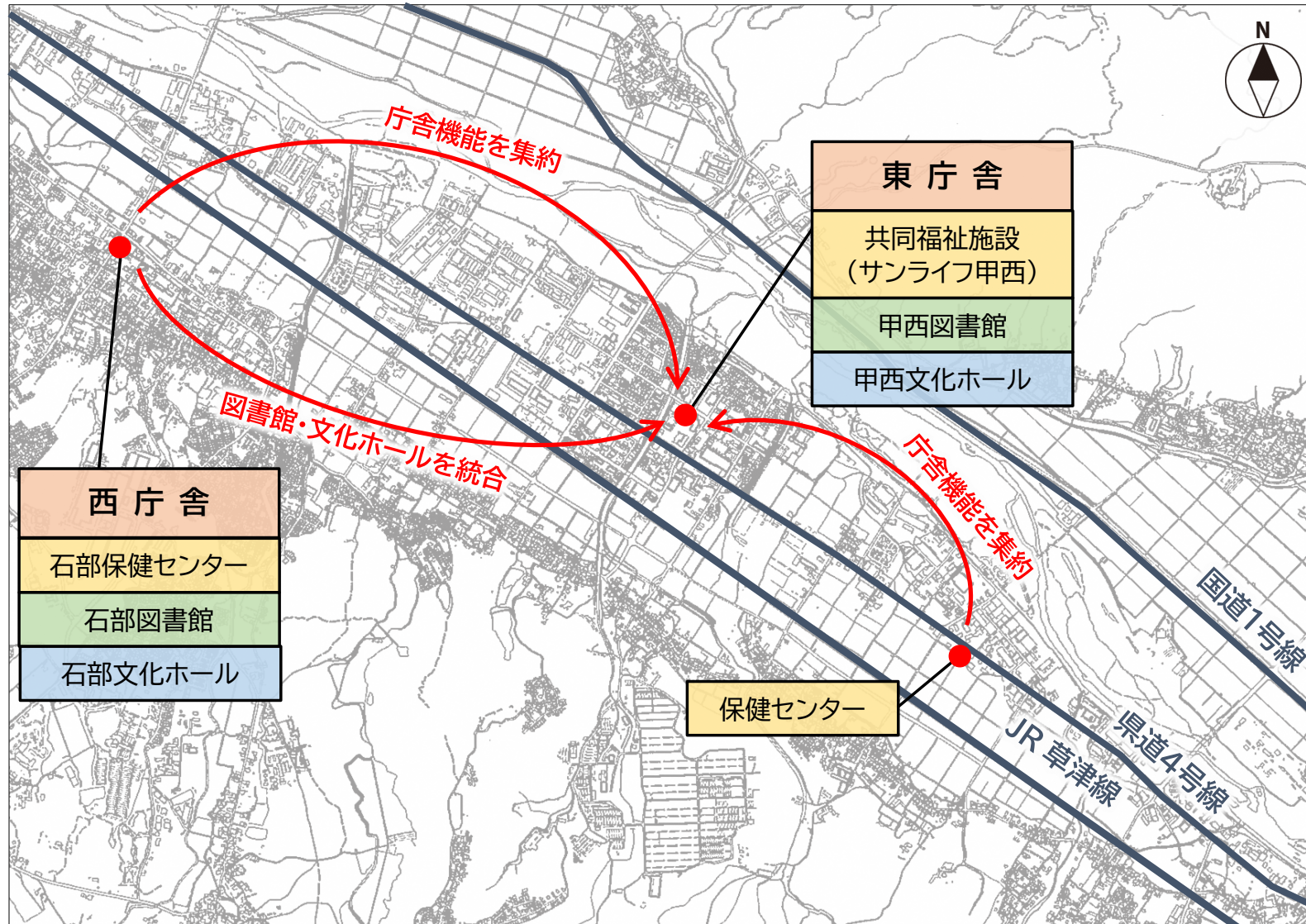
に位置付けられている



東庁舎周辺で建設



## ■庁舎機能の集約化及びその他公共施設の統合について



- 庁舎機能を1拠点（東庁舎周辺）に集約
- 図書館機能・文化ホール機能を甲西図書館・甲西文化ホールに統合

## ■DXの推進

- 総合窓口（ワンストップサービス）、書かない窓口システム、総合窓口アウトソーシング、電子決済
- 将来的な「行かない窓口システム」
- ペーパーレス化 ⇒ 書庫等の面積縮小 ⇒ 庁舎規模縮小

## ■小規模多機能自治の推進

- 福祉施設や貸館機能がメインの施設は、ほかに市民に求められる機能とあわせて機能集約し、西庁舎周辺に新たな施設を整備
- ⇒ 市民主体での運営により、市民ニーズや地域課題に柔軟に向き合い、地域の活性化を図る

## ■財政負担の軽減

- ライフサイクルコストを抑える整備方法を選択
- ライフサイクルコストを抑える設備を導入
- 事業費縮減に有効な事業方式の検討、有利な起債、補助金等の活用
- 各年度の整備費を極力平準化できるスケジュールの検討



# 4 庁舎整備の基本的な考え方

## ■基本理念

### 第二次湖南省総合計画

まちの将来像

ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南

実現につながる整備

### 庁舎周辺整備の基本理念

## 市民の安全・安心・便利な暮らしと 持続可能なまちを支える庁舎

人口減少・少子高齢化の進行、DXやIoTなど情報技術の進展、多様化・複雑化する市民のライフスタイルや行政ニーズなど、社会の変化を力に変え、地域自治や市民の安全・安心な日々の暮らしを支える、人や環境にやさしい施設整備を目指します。

地域自治・  
住民福祉

- 小規模多機能自治の推進
- 市民サービスの利便性向上

市民の  
安全・安心

- 耐震性の確保
- 災害への備え

社会の  
変化への  
対応

- フレキシブルな空間
- ICT・DXの活用

地球環境  
への配慮

- 省資源・省エネ化
- 低コスト化

## 4 庁舎整備の基本的な考え方

### ■基本方針

#### 東庁舎周辺

1. 市民サービスの利便性に配慮した小規模多機能自治にふさわしい庁舎

#### 西庁舎周辺

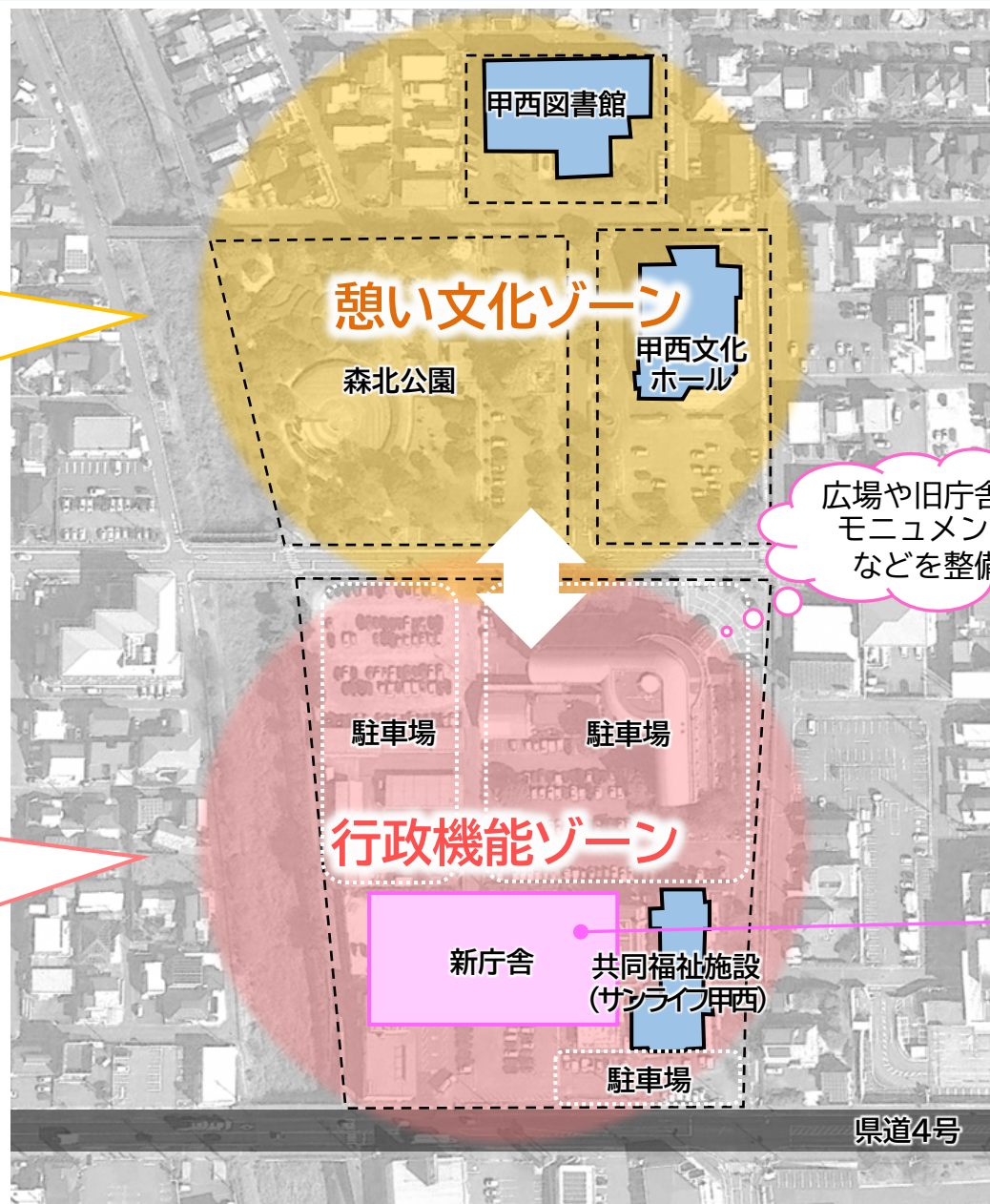
1. 住民福祉の向上や住みよい地域整備

2. 市民の安全・安心な暮らしを支える防災性の高い施設

3. 社会情勢の変化に対応できる長寿命で柔軟性の高い施設

4. 地球環境に配慮した施設

## ■東庁舎周辺



… 憩い文化ゾーンと  
行政機能ゾーンを  
つなぐアプローチ

- 新庁舎の位置
- 県道4号から分かりやすい、  
アプローチしやすい



## ■西庁舎周辺

市民による  
市民が主役のまちづくり

住民福祉ゾーン

駐車場

福祉系  
複合施設

駐車場

駐車場

市民活動  
複合施設

駐車場

防災ゾーン

地域自治ゾーン

湖南中央消防署  
(石部分署)

石部防災センター

駐車場



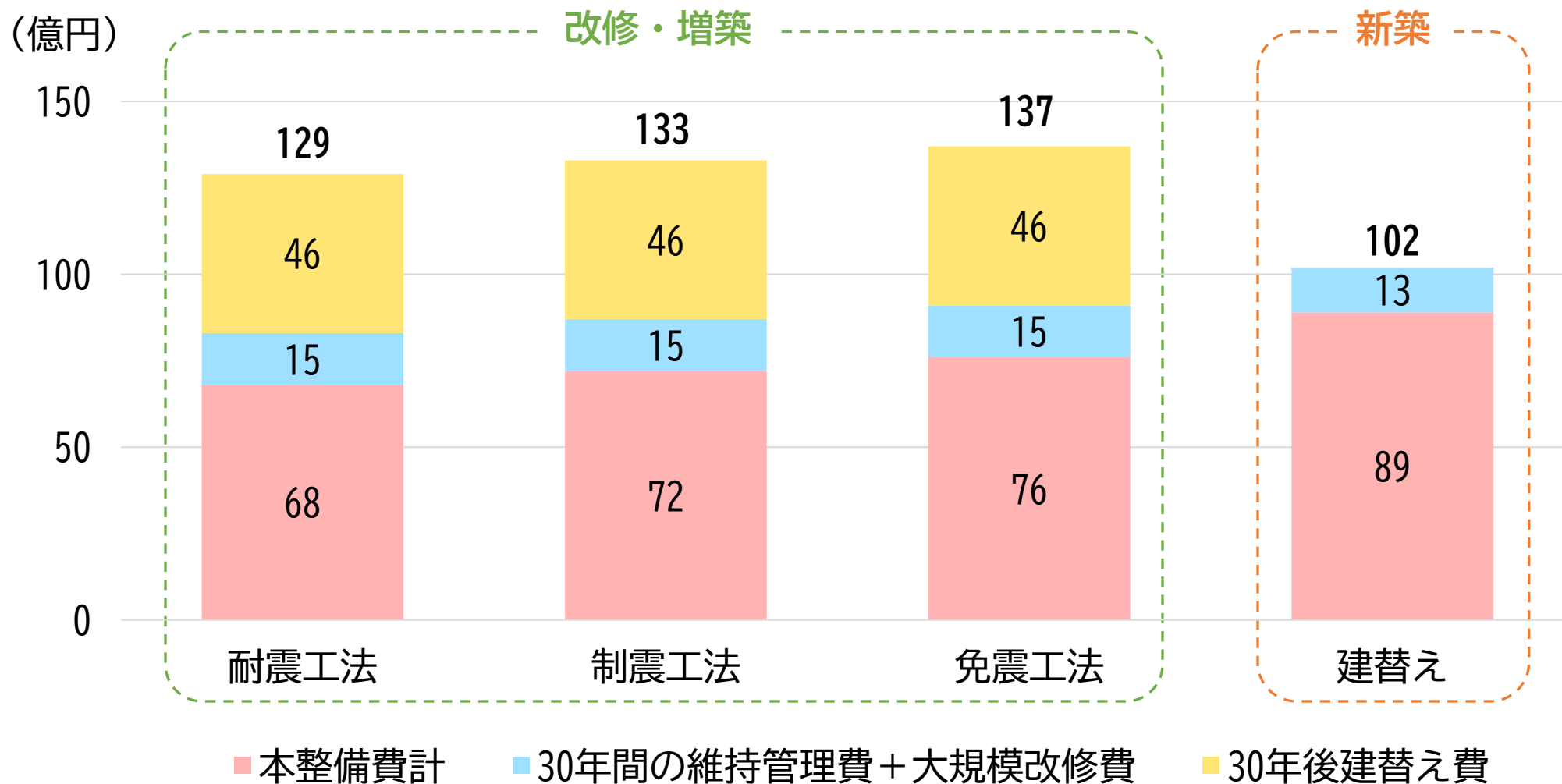
## 敷地利用計画



- 新庁舎は高台部分（浸水想定区域外）に配置
- 駐車場は現状の300台を確保
- 障がい者用駐車場は5台以上確保
- 防災広場（一時避難所）を整備
- 車両動線と人動線が交錯しない動線
- 庁舎～甲西図書館へのアクセス軸を整備
- 安心・安全な森北公園の整備
- 旧東庁舎のあり方の検討

## ■概算事業費（30年間のライフサイクルコスト）

※今後の検討や物価変動などによって金額が変わる可能性があります。





## ■スケジュール

	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度
新庁舎	基本 計画	基本設計・ 実施設計・ 確認申請		建設工事		移 転	解 体	
西庁舎周辺に 新築する施設 ・市民活動複合施設 ・福祉系複合施設		西庁舎周辺整備の検討 ・住民ワークショップ ・住民懇談会 など		検討結果を踏まえ建設 基本設計→実施設計→確認申請→建設工事→移転				
西庁舎周辺の 既存施設		西庁舎周辺整備の検討 ・住民ワークショップ ・住民懇談会 など		検討結果を踏まえ解体 実施設計→移転→解体 ※検討結果によっては解体以外の可能性も考えられます。				